

温室効果ガスを微生物で分解

urning - January 19 - Land 19 - Land

Turning to an eco-friendly future.



平成27年度 農林水産業·食品産業科学技術研究推進事業

【実用技術開発ステージ】(現場ニーズ対応型)採択課題 「農耕地からの一酸化二窒素ガス発生を削減し作物生産性を向上する微生物資材の開発」



環境に優しい

新しい農業のページをめくりませんか?

温室効果ガスN2Oの削減に向けて

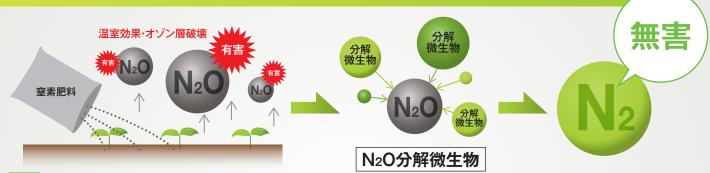


図1 N₂O分解微生物を利用したN₂O無害化

農業に必要な窒素肥料は、

温室効果ガスであるN2Oを発生させます。
図1

国内水田より単離されたN2O分解微生物を利用することにより、

有害なN2O発生量を減らすことが可能です。図1 図2

肥料の使用量を減らすことが可能な 微生物資材を開発

N2O分解微生物は植物の生育を促進する効果も有しています。 図3 そのため、肥料の使用量を減らすことが可能です。

固形状資材ではN2O削減量を より高くすることが可能

N2O分解微生物とキャリア(植物性繊維)を組み合わせることにより N2O削減効果をより強化した資材を開発しました(特許申請中)。 「農耕地用一酸化二窒素低減材」特願2017-175439

液状資材/固形状資材

薄めて散布する液状資材と土壌に漉き込む固形状資材を開発しております。

使用方法

液状資材▶肥料と同時に散布、定植時の苗どぶ漬け 固形状資材▶耕起時に漉き込み

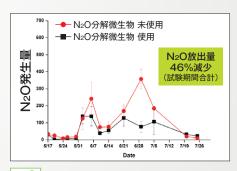


図2 牧草地からのN2O発生量削減



N₂O分解微生物使用

根重が2.8倍増加

図3 植物生育促進効果





固形状資材

《研究元》



《販売代理店》

〒003-0012 札幌市白石区中央 2 条 4 丁目 4 番 20 号 株式会社 ゼンリン TEL011-821-3633 FAX011-813-1166

